

# 京丹後市 普通会計財務書類4表の概要（平成21年度決算）

## 貸借対照表

（平成22年3月31日現在）

貸借対照表は、会計年度末における財政状態（資産保有状況と財源調達状況）を表す財務書類です。資産合計額（財産）と負債・純資産合計額（財源）が一致し、左右がバランスしている表であることからバランスシートとも呼ばれます。

資 産	1,291億6,972万円	負債・純資産合計	1,291億6,972万円
【内訳】		負 債	479億5,487万円
1 公共資産	1,205億2,138万円	将来世代が負担する額	
有形固定資産（道路、公園、学校、庁舎など）、売却可能資産		【内訳】	
2 投資等	56億6,428万円	1 固定負債	429億9,149万円
基金、出資金、長期延滞債権など		地方債、退職手当引当金など	
3 流動資産	29億8,406万円	2 流動負債	49億6,338万円
うち歳計現金	9億9,604万円	地方債（翌年度償還予定分）、賞与引当金など	
現金預金、財政調整基金、未収金など			
		純資産	812億1,485万円
		過去や現在の世代が既に負担した額	

※ 地方債残高（翌年度償還予定額を含む）のうち278億8,455万円については、償還時に地方交付税の算定の基礎に含まれることが見込まれています。

## 行政コスト計算書

（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

行政コスト計算書は、資産形成に結びつかない1年間の経常的な行政サービスにかかるコスト（費用）を表す財務書類です。

経常行政コスト	①	280億6,665万円
【内訳】		
1 人にかかるコスト（人件費など）		57億668万円
2 物にかかるコスト（物件費、維持補修費など）		98億5,516万円
3 移転支的コスト（扶助費、補助費等、繰出金など）		116億2,751万円
4 その他のコスト（地方債利息など）		8億7,730万円
経常収益	②	11億4,813万円
【内訳】		
1 使用料・手数料		10億4,020万円
2 分担金・負担金・寄附金		1億793万円
（差引）純経常行政コスト	①-②	269億1,852万円
経常行政コストから経常収益を差し引いたものです。		

## 資金収支計算書

（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

資金収支計算書は、1年間の行政活動に伴う歳計現金（資金）の流れを性質の異なる三つの活動に分けて表示した財務書類です。

期首歳計現金残高（平成20年度末）	①	8億2,557万円
当期歳計現金増減額	②	1億7,047万円
【内訳】		
1 経常的収支の部（日常の行政活動に伴う資金収支） （人件費、物件費などの支出と地方税や手数料などの収入）		82億6,046万円
2 公共資産整備収支の部（公共事業に伴う資金収支） （公共資産の整備の支出とその財源となっている地方債や補助金などの収入）		△24億7,873万円
3 投資・財務的収支の部（投資活動や財務活動に伴う資金収支） （出資・貸付金、基金積立、地方債の返済金などの支出とその財源となっている補助金、地方債、貸付金元金の回収などの収入）		△56億1,126万円
期末歳計現金残高（平成21年度末）	①+②	9億9,604万円

## 純資産変動計算書

（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

純資産変動計算書は、貸借対照表における純資産が1年間でどのように増減したかを表す財務書類です。

期首純資産残高（平成20年度末）	①	803億307万円
当期純資産変動額	②	9億1,178万円
【内訳】		
純経常行政コスト		△269億1,852万円
その他（地方税・地方交付税などの一般財源及び補助金等受入など）		278億3,030万円
期末純資産残高（平成21年度末）	①+②	812億1,485万円